

第1回「埼玉県国民保護協議会」の開催結果について

第1回の「埼玉県国民保護協議会」が下記のとおり開催され、「国民保護に関する埼玉県計画（原案）」が、知事から協議会に諮問されました。

記

1 日 時 平成17年5月16日（月） 午後2:00～3:50

2 場 所 埼玉県県民健康センター大ホール

3 会議概要

○「国民保護に関する埼玉県計画（原案）」について、県から説明がされた後、活発な意見交換が行われました。

（意見・質問） 関係機関が一体となった訓練が重要と考えるが、どのような訓練を実施するのか

（対応） 県計画に基づき迅速かつ的確に国民保護措置が実施できるよう、国民保護実施マニュアルを作成するとともに、様々なパターンの訓練を繰り返していく。今年度は、県、市町村、消防機関、指定公共機関、指定地方公共機関の間で警報や避難の指示などの情報が確実に伝達されるかなどのシミュレーションを行うほか、JR大宮駅で、自衛隊・警察・消防も参加して、大規模なテロ対策訓練を実施する。

（意見） 医療機能の低下を招かないよう、上下水道やガス・通信などライフラインの安定供給が重要である。

（意見） 情報伝達手段が途絶した場合は、自転車やヘリコプターを利用するなどの工夫が必要がある。

（意見） 情報伝達手段が途絶した場合は、自転車やヘリコプターを利用するなどの工夫が必要がある。

（意見） 武力攻撃事態等が発生した際、初動対応を行うのは市町村である。市町村との関係をしっかり構築していただきたい。

（対応） 県では、市町村と一緒に、山間地域や人口密集地域、自衛隊基地の所在地などの特性を踏まえた複数のモデル計画を今年度中に作成することとしている。

(意見) 天然痘によるテロが危惧されるので、天然痘テロを想定した訓練を行っていただきたい。

(意見) 県民の意識啓発が重要である。学校教育を含めて、方策をもう少し細かく具体化する必要があると思う。

(意見) 被害を回避したり、最小化するためには、県民一人一人の対応能力の向上が必要である。

(意見) 社会的混乱や不安を防ぐためには、武力攻撃事態等が発生した段階で、発生源を早期に見極める能力が必要である。

(意見) テロや大規模災害などの様々な危機に混乱なく対処できる体制づくりを構築する必要があると考えられる。そのためには、地震などの防災で積み上げてきたものをベースにして、足りない部分を付け加えればよいと考えられる。

4 計画策定スケジュール

秋頃までに協議会から答申を受け、その後、国との協議を経て、今年度中に県計画を策定する。次回は7月に開催予定。